

高音質トランス電源 組立キット WP-906PS

組立説明書

ver3



KYORITSU
共立電子産業株式会社

- 主な仕様
 - ・入力電圧 AC100V
 - ・出力電圧 DC12V 1A ⇒ LXA-OT1用
 - DC14V 1A ⇒ LXA-OT3用
(トランス2次側の配線でどちらかを選択します)
(出荷時はDC14Vになっています)
 - ・外形寸法 幅110mm 高さ60mm 奥行き150mm(突起部除く)
 - ・重量 810g

- 必要な工具
 - ・マイナスドライバー
 - ・ピンセット
 - ・六角レンチ

- ご注意!!
 - ・本機の内部にはAC100Vの電圧を扱うところがあります。端子に触れると感電しますので、必ず「アルミケース」をネジ止めた状態でご使用ください。

- お断り
 - ・本製品およびそれらを構成するパーツ類は、改良・性能向上のため予告なく仕様・外観等を変更する場合がありますをあらかじめご了承ください。
 - ・本製品は組立キットまたは半完成品です。製作作業中の安全確保のため説明書をよくお読みになり、正しい工具の使用・手順を守ってください。
 - ・完成品でない商品の性格上、組み立て後にお客様が期待される性能・品質・安全運用等の保証はできません。
 - ・完成後はお客様(組立業者)ご自身の責任のもとでご使用ください。
 - ・本製品は機器への組み込み他、工業製品としての使用を想定した設計は行っておりません。
 - ・また、本製品に起因する直接、間接の損害につきましては当社修理サポートの規定範囲を超えての補償には応じられません。

販売元:共立電子産業株式会社
共立プロダクツ事業所

〒556-0004 大阪市浪速区日本橋西2-5-1
TEL06-6644-4447 FAX06-6644-4448

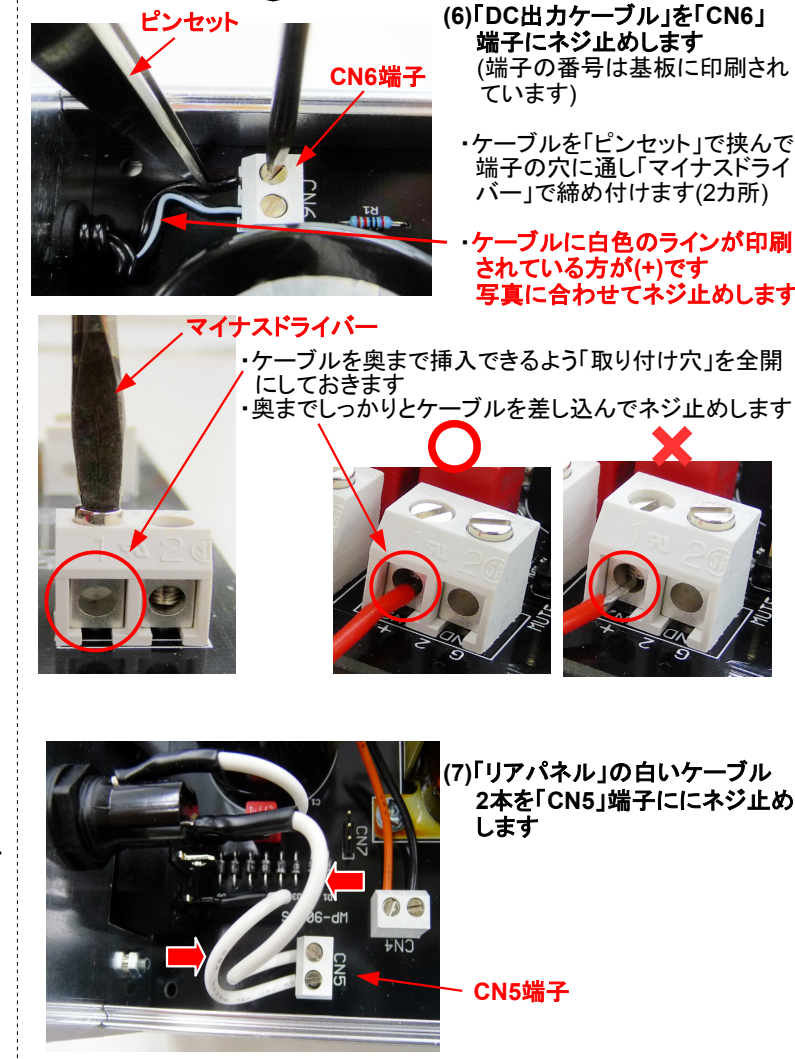
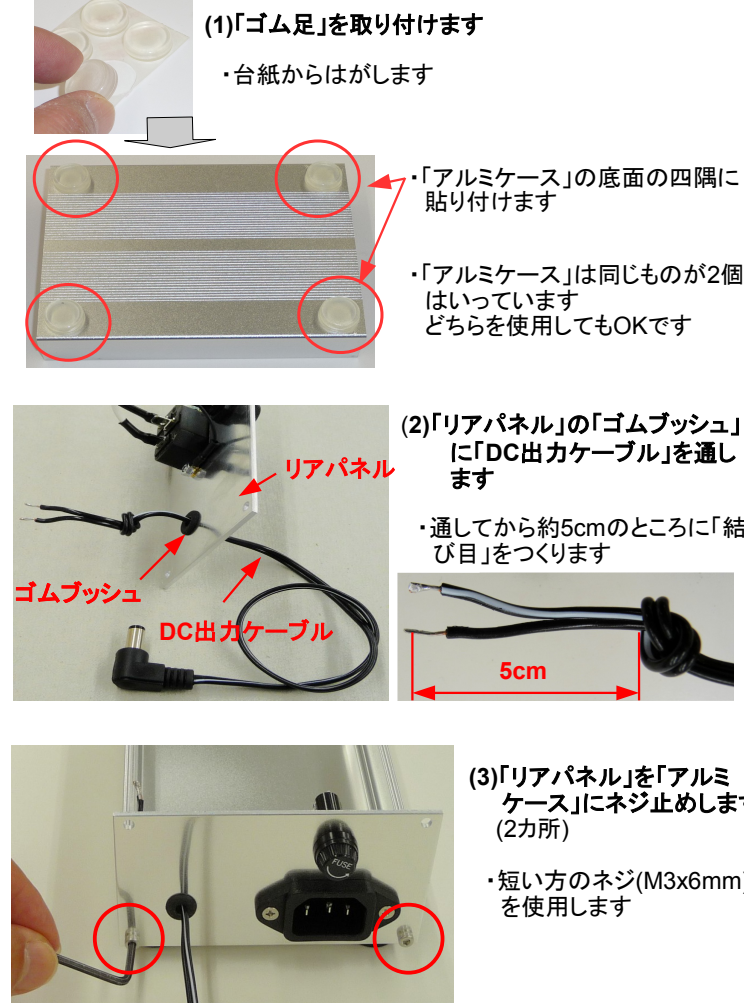
●本キットのパーツ

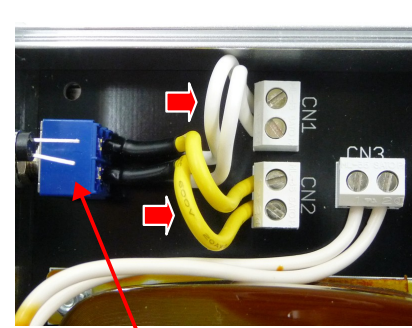


●回路図

回路図は非公開です
キットに同梱されている説明書には記載されています

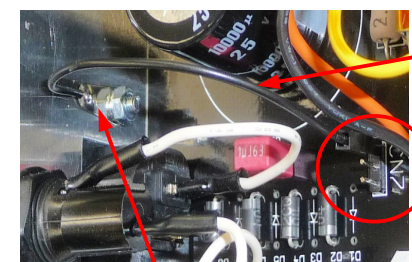
●組み立て手順





電源スイッチ

- (8)「電源スイッチ」の配線をします
- ・白いケーブルを「CN1」端子に黄色のケーブルを「CN2」端子にネジ止めします
 - ・2本のケーブルは端子のどちらのネジ穴に接続してもOKです



タマゴラゲ

- (9)アースの配線をします
- ・「タマゴラゲ」から出ている黒色ケーブルの先端を「CN7」端子のいちばん端のピン(トランスに近いピン)に差し込みます



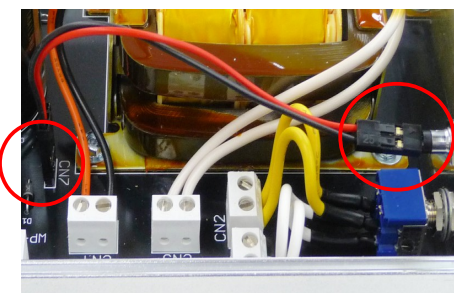
QIハーネス

- (10)「LED」の配線をします
- ・「QIハーネス」の片側を「CN7」端子の2本のピンに差し込みます
 - ・黒色のケーブルが外側になるように挿入します

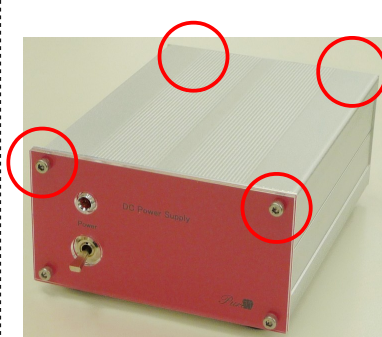
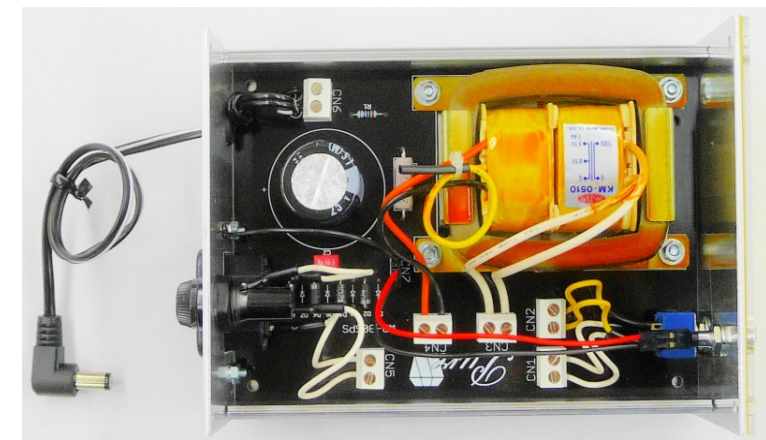


- ・「QIハーネス」のもう片側を「LED」の足に差し込みます

「LED」には極性がありますので赤いリード線をLEDの(+)端子に合わせます
写真に合わせて接続すればOKです

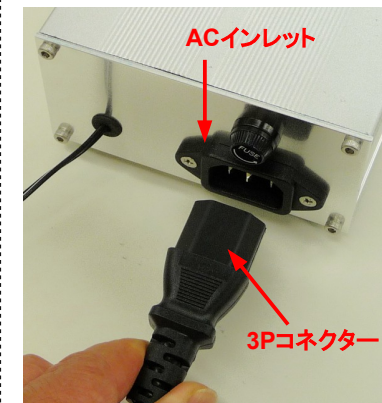


●これですべての配線が終了しました
接続間違いがないか再確認しましょう



- (11)「アルミケース」の上側を乗せてネジ止めすれば完成です

- ・「フロントパネル」には長いネジ(M3x10mm)を、「リアパネル」には短いネジ(M3x6mm)を使用します



ACインレット

3Pコネクター

●動作テストをします

- ・ACケーブルの「3Pコネクター」を「ACインレット」に接続します
- ・ACケーブルのもう片方のプラグを「100V」のコンセントに接続します
- ・電源スイッチを入れます
- ・「LED」が赤く点灯します

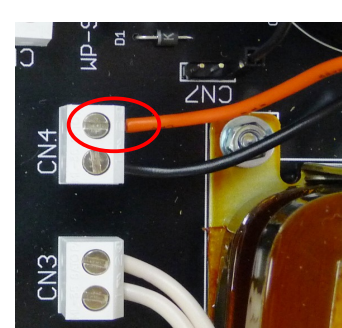
・LEDが点灯しないときは下記を確認してください

- 1 「LED」の足に差し込んだ「QIハーネス」の方向は正しいでしょうか
- 2 「QIハーネス」のもう片方は「CN7」端子に正しく接続されているでしょうか

・異臭がしたり、煙が出たりするときはすぐにスイッチを切り、コンセントからプラグを抜いてください
すべての端子に正しく接続されているか再度確認してください

・上記の場合、ヒューズが切れている可能性があります
ヒューズホルダーのツマミを反時計方向に回すとヒューズを取り出すことができます。
切れている場合は「250V 2A」の新しいヒューズと交換してください

・異常がなければ、テスターをお持ちのかたはDC出力電圧を計測してください
無負荷状態ではDC14,7Vくらいを表示するはずですが
(この後で述べますがトランス2次側の配線を「黄色」に変更した場合は無負荷状態でDC12,6Vくらいになります)

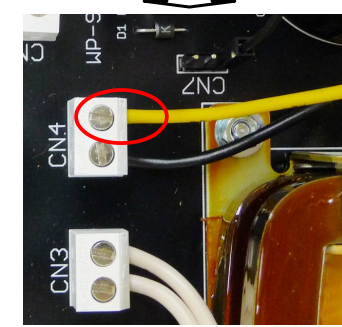


●「DC12V」出力に変更するとき

- ・本機は「DC14V出力」になるようあらかじめトランス2次側の配線がされています

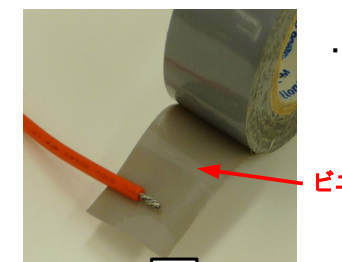
「CN4」端子に「橙色」のケーブルが接続されています

LXA-OT3アンプを使用される場合はこのままでOKです



- ・「黄色」のケーブルに接続変更すれば「DC12V出力」になります

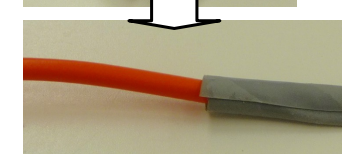
LXA-OT1アンプおよびDC12V仕様のアンプに接続される場合は必ず「黄色」のケーブルに差し替えてください



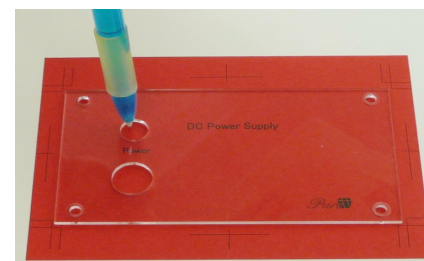
- ・差し替えた「橙色」のケーブルの先端にビニールテープを巻いて絶縁し、「結束バンド」などで固定しておきます

ビニールテープ

結束バンド



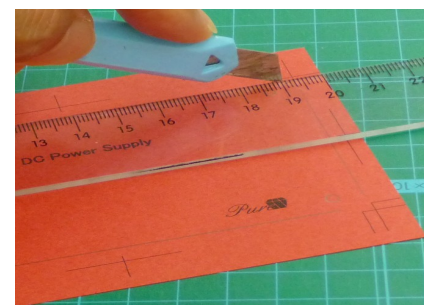
●着せ替えパネルのつくりかた



- (1)パネル用紙の上に「亚克力パネル」を乗せます

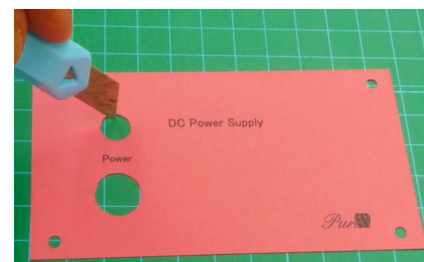
- (2)文字とパネルの穴位置を合わせます

- (3)丸穴6カ所を鉛筆などでマーキングします



- (4)カッターナイフで周囲をカットします

少し小さめにカットするのがコツです



- (5)丸穴をカットします(6カ所)

少し大きめにカットするのがコツです

・パソコンでオリジナルの「着せ替えパネル」をつくることができます
つくりかたは、添付されている「手づくりオーディオレシビ」をご覧ください